

2015ぎふ平和のつどい

ニュース 第2号

2015年7月発行

「2015 ぎふ平和のつどい」

実行委員会 編集

(委員長:平井花画)

事務局:「岐阜・九条の会」

憲法違反の「戦争法案」みんなの力で廃案に！

安倍政権は国民多数の声を無視し、「安全保障法案」という名の「戦争法案」を、衆議院本会議で強行可決しました。自民党推薦の憲法学者まで「憲法違反だ」と述べ、世論調査でも「審議を尽くしていない」という声が8割以上にもかかわらず。そのこともあって、安倍政権の支持率は30%台になり、不支持は50%を超えました。「アベ政治は許さない！」の声は、いまや全国に大きく広がり、安倍政権は瀕死の状態に陥っています。

もう一押し、もう一つの広がり、30%を割る支持に引き下げれば、政権はガタガタになるでしょう。女性の力は圧倒的に勢いを増していますし、若者がすごい勢いで声を大きく出しています。

全国、岐阜県内、津々浦々、老若男女、がっちり手を組んで、廃案に追い込みましょう。それは可能です。



今年の群読は、平方浩介さんの創作詩です！



今年の「市民参加ステージ」の群読は、児童文学者で、「岐阜・九条の会」代表呼びかけ人の一人、平方浩介さんの創作詩になりました。すでに、50名ほどの登録があり、練習に入っています。以下、平方さんのメッセージです。

「何故、群読で命どう宝なのか」

『命（沖縄ではヌチと発音しています） どう宝』は、古くから沖縄で最も大切にされてきた言葉です。これは私たちが、何はともあれ命が大事、命あってのものだねなどと、軽く言い流してきた言葉とは異なった、深く重い意味をもった言葉として、沖縄では伝えられてきました。まさに今、私たちが憲法九条に託している想いと同一深さと重みをもって……。

浜矩子さんのお話に期待しています！

浜さんの講演会に参加したことがある。経済学者の話と いうことで、「なんだか難しそう。経済の知識なんてないんだけどついてけるだろうか」と思っていたが、講演を聴くやそんな不安はすぐ吹っ飛んだ。浜さんは言葉の名人！！ 本当は難しい話をとてもわかりやすく話してくれる。

今回の講演タイトルは「グローバル時代の救世主 日本国憲法 ～正義と平和が出会うとき～」となんだか難しそう（なタイトル！？）。だが、グローバル時代に生きる私たちが、平和のためにやらねばならないことなど示唆多い話がキッと聴けそう。期待しています。

石井光政（九条の会 山県）

浜矩子さんと聞くと、真っ先に思い浮かぶのは「快刀乱麻」という言葉。子どもの頃、テレビで見た『白馬童子』や『隠密剣士』のように、寄せ来る悪人をバツバツとやっつける。新聞や著書を読むと、浜さんも経済学者の視点で新自由主義経済の下、利潤追求に血まなこの資本（金持ち）やそれに群がる悪徳政治家を、切っ先鋭く切り捨てます。

そして『浜経済学』の土台は日本国憲法と同じで社会的弱者が大切にされることだと、浜さんの書いたものを読むたびに思います。『2015 ぎふ平和のつどい』で、浜さんの「快刀乱麻」を目の当たりにできるのが今から楽しみです。

井川敏郎（島中学校区九条の会）